

報みょうとく

題字 松川裕子

浄土真宗本願寺派妙徳寺
(安芸教区志和組)
発行責任 寺報編集委員会
東広島市八本松町飯田六〇二
電話〇八二・四二八・〇一四四



新会館と報恩講の報告

十一月二十五日に当寺の報恩講をお勤めいたしました。

前日午後一時から前日準備、境内や建物内の掃除やお飾り、お参りの皆さまをお迎えする準備などの約二時間の作業に約四十人の皆さんにお集まりくださいました。

二十五日の報恩講当日、九時からの朝席はこども園の幼児組も参加してのお参りをして法話。弁当でのお斎、そして午後一時からは日中席のお参りと法話。

今回は十一月一日に完成引渡になった新しい会館をご覧いただく機会となりました。たくさんの皆さんにご協力いただいたことにお礼申したいと、住職の子どもたちも帰省して一緒に参加してくれました。会館での初めてのお参りは新発意が導師を勤めました。お斎弁当を本堂や会館などこども自由な場所でおとりいただくよう案内し、ゆつくりと子どもたちを含めた歓談のお昼時間を過ごしいただくことができました。

この度の門信徒会館建築

一語法話

は新発意の得度披露記念事業としています。記念事業実行委員会と協議をして、この記念法要を令和八年五月十七日に行うことといたしました。あらためて新発意たちも帰省して一緒に法要に出て、記念事業にご協力いただいたことにお礼を申し述べ、これからの寺院活動に一層のご協力をお願いいたします。

まず二句、

天親菩薩造論説

帰命無礙光如来

五月の法要の詳細は実行委員会と協議し、あらためてお知らせいたします。まずは日にちのご都合をお練り合わせいただきたく思います。

天親菩薩は『浄土論』という書物を著して、「世尊よ、私は一心に無礙光如来に帰命して、安楽国に往生いたします」と、みずから

の信仰を告白されました。

天親菩薩は西暦四世紀ブルシヤプラ(現在のパキスタン)ご出身、初めは部派(小乗)仏教の説一切有部で出家して『俱舍論』など

五百部を、後に兄の無著菩薩の導きにより大乘仏教に転向され『撰大乘論釈』や『唯識三十頌』などさらに五百部製作されたことから「千部の論主」と称されるほど多くの著作を残し、八十歳でその生涯を閉じられました。

正信偈の最初に「帰命無量寿如来」とありましたが、ここではちよつと言葉がちがいます。どちらも同じ「ただ阿



新発意(長男)と長女。次男は当日は授業のため、前日準備だけ参加しました。

弥陀如来に帰依いたします」という信仰告白です。

この句は天親菩薩の主著である『浄土論』の冒頭に天親菩薩自身が信仰を告白されている次のお言葉に依っております。

世尊我一心 帰命尽十方 無礙光如来 願生安楽国

ここについて、親鸞さまは『尊号真像銘文』に次のように解釈されております。

「世尊」とはお釈迦さまであり、「我」というのは天親菩薩が自身のことを

ライン登録のお願い

寺報では対応できない、急な予定変更をすぐにお知らせするためにライン登録をお願いしています。平素は月一、二回程度お知らせを一斉配信します。

なお、お寺にお参りいただ



このQRコードを読み込むか、@985fghgyを検索してください

行事予定

新しい会館の活用方法を手探り中です。従来通りの行事に加え、何か要望して下さることの中から、できることを実現していきたいと思ひます。裏面記載の行事にもご参加ください。

大晦日 午後十一時半から
除夜会(じよやえ)

元旦 午前十時より一時間半
修正会(しゅうしようえ)

一月七日(水) 午前九時、午後一時

御正忌法要(おたんや)

講師 本願寺派布教使 八本松篠岡本法治師

三月十日(火) 午前九時、午後一時
春彼岸会(はるひがんえ)

講師 本願寺派布教使 西福寺住職 根来暁師



【上】報恩講日中席 【下1】新発意 【下2】門信徒会館での初参り 【下3】報恩講朝席 (一部加工あり)



本堂にお掛けの七高僧図の天親菩薩。如意棒をお持ちです



仰っている。「一心」というのは、お釈迦さまの仰せに対して「心なく疑いがない」ということであり、これはまことの信心である。「帰命」とは「南無」であり、また「帰命」というのは阿弥陀如来の仰せにしたがうという意味である。「尽十方無礙光如来」というのは阿弥陀如来のことであり、光明そのものである。「尽十方」というのは、「尽」とは「つくす」といい、「ことごとく」ということである。光明はすべての世界に満ちわたっており、「無礙」というのは、

天親菩薩は『浄土論』のまとめというべきこのお言葉最初述べておられるのです。このこと一つを伝えるためにこれを著されたのだと思われまじし、ここに自身の救いの教えにあうことができたよろこびを表わさずにおれないのだというお心を感じます。

正信偈の続く二句です。

依修多羅眞実

光闡横超大誓願

天親菩薩は、『無量寿經』

によつて眞実の功德であります名号をあきらかにされ、誰もが救われてゆく阿弥陀如来のお誓いを説き述べられました。

先に挙げた『浄土論』の「世尊我一心」というお言葉に続いて、我依修多羅 眞実功德相 説願偈総持 与仏教相应

私は浄土經典

(修多羅)を依

りどころとし、

そこに示されて

ある眞実功德の

法に帰依して、

この願生の偈で

ある『浄土論』

を説いて、仏の

教と相应します。

正信偈の『依

修多羅眞実』

はここに依拠しておられます。



合同墓・墓地案内
有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地です。ご相談ください

妙徳寺ホームページ
<http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/>



親鸞さまはご和讃の中で、

釈迦の教法おほけれど

天親菩薩はねんごろに

煩惱成就のわれらには

弥陀の弘誓をすめしむ

と、あらゆる教えによつて

もなお煩惱を無くすことの

できない私たちに、阿弥陀

如来のご本願を説かれた経

典を勧められた天親菩薩の

功績を讃えられております。

です。

「百千億那由他の諸仏の

国が見える」とは、どの人

や命の上にも仏を見出だ

し、どんな相手をも尊敬し

て、あらゆる世界を理解す

ることができるということ

でしょう。相手を軽蔑し相

手を気嫌いしていたので

は、相手の世界を見ることが

も、相手の気持ちを理解す

ることもできるはずがあり

ません。

(次号へ続く)

記事・玉田義幸、住職



「書道教室」

ホームページ内の「行事カレンダー」に稽古日を掲載しています。妙徳寺LINEでも随時お知らせいたします。(毎月3回程度の金曜日 午後2時半～午後5時の間)

※金谷雷聲先生(奮門会)による幼児・児童・大人対象、硬筆・毛筆教室です。申込は金谷先生FAX0823-82-9565 または妙徳寺へご連絡ください。

「おみのりサロン」開催予定日

1月 22日 (木) 2月 20日 (金)
3月 9日 (月) 午後2時より1時間半
(住職が本堂に待機、相談をお受けします)



「写経の会」

1月 23日 (金) 2月 27日 (金) 3月 27日 (金)
それぞれ午後2時より
申し込みは 代表_西本さん(428-2466)、または妙徳寺へ

「生きていくための仏の教え仏教基礎講座」

1月 はお休み 2月 14日 (土) 3月 14日 (土)
それぞれ午後2時より
申し込みは 代表_廣川さん(428-5935)、または妙徳寺へ

「妙徳寺仏教壮年会例会」 (原則毎月第2土曜日)

1月 10日 (土) 午後6時より 定例会
2月 14日 (土) 午後6時より 定例会
3月 14日 (土) 午後6時より 定例会

志和組テレホン法話「みのりの電話」

082- 433 -4989

1月 1日～	天龍寺	天野 英昭
1月 11日～	長松寺	笠岡 淳聖
1月 21日～	光源寺	堀 靖史
2月 1日～	八本松篠	岡本 法治
2月 11日～	志和東	石川 了真
2月 21日～	西蓮寺	西浦 憲雄
3月 1日～	西方寺	安國 真雄
3月 11日～	寿福寺	田中 幸恵
3月 21日～	照栄寺	井口 英隆

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。